

## 会議等議事要旨記録票

日 時	令和3年8月10日（火曜日）午前11時00分から午後0時00分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	リスクコミュニケーションチーム会議		
議 題	ワクチンアンケートについて 等		
参 加 者	賀来座長、チームメンバー、福祉保健局関係部長・課長、 新型コロナ広報に関わる職員等		
配付資料	なし		
主な内容	<p>●東京iCDC実施及び生活文化局が実施したアンケートを基に、今後の広報等について意見交換 （アンケート結果について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20代の若者も7割は「ワクチンを接種したい」と考えている。ワクチンを接種しない理由としては、ワクチンの効果や副反応についての懸念が大きい。</li> <li>・現在のコロナ対策についての設問では、多くの都民は引き続き感染対策を継続しているが、過去と比べると「日中や夜間の外出を控える」等が、長期的な傾向として段々と下落している</li> <li>・2回接種した後の活動では、変わらないと思うと答える方が多数であるが、外出や同居家族以外との飲食が増えるとの回答も2割ほどあった。</li> <li>・ワクチン接種者にインセンティブを与えることの是非を問う設問では、回答が割れている。</li> </ul> <p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や自治体による外出自粛の呼びかけの効果が薄れている。</li> <li>・ワクチンパスポート等のワクチン接種者への優遇策については、ワクチンを接種したくても接種できない人もいるため、その方々をフォローする対応がフェアネスの観点から必要。</li> <li>・ワクチンの副反応を心配する人が多い。副反応が出た場合の救済制度はあるが、それに対する不信感を持っている人も多い。正しい情報や、救済制度についての情報提供も行った方がよい。</li> <li>・短期的な取組だけでなく、長期的スパンでワクチンの有用性を浸透させる施策も必要。ワクチン接種を迷っている層に向けた広報を行う方がよい。</li> <li>・新型コロナ対策は、ユニバーサルマスクングと換気、ワクチンの3つが大きな柱なので、これをあらためて強調した方がよいのではないかと。</li> </ul>		
作 成 者	計画課 上條	確 認 者	東京感染症対策センター担当 課長 岡野